

事務事業名	市立病院介護老人保健施設運営事業			会計	老健施設	実施区分	継続		
H29作成課等名	市立病院介護老人保健施設	H29係等名	管理係	事業種別	政策	開始	終了		
基本計画上の位置づけ	政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり						
	施策	35	高齢者福祉の推進						
目的	対象(誰・何を)	入所・短期入所・通所等の利用者			対象指標	指標名及び単位		28年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	介護を必要とする高齢者に安全安心なケアを提供する				入所定員:ベッド数	100		
	向上させたい上位施策の成果指標	安心して暮らせている高齢者(65歳以上)の割合				通所定員:人数	40		
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	施設入所利用率: % 入所利用者数/入所定員			95	90.2	95	92.1	
	成果指標	通所1日あたり利用者数:人			27	25.2	27	25.1	
	定性目標								
事業概要	<p>市立病院介護老人保健施設は、在宅生活への復帰を目指し、機能訓練により、入所者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことを目指している。入所希望者は、申込により施設内入所判定会において協議決定し、利用することができる。入所定員は、平成22年10月より50床から60床に、平成24年2月より60床から70床に、平成24年10月より70床から100床に増床、25年度からは通年100床で運営している。また、居宅支援事業として、通所リハビリテーション事業を実施。施設整備後の利用者拡大に伴い、22年6月から定員を20人から25人、24年4月より25人から40人として、居宅で生活している高齢者の支援を行っている。</p> <p>平成27年度より職員による「ゆうゆう経営会議」を新たに立ち上げ、経営改善に向けた具体的な取り組み(介護報酬加算取得の庁内連携、市立病院とのベッド管理の連携)について検討を重ねてきた結果、28年度は在宅復帰加算取得が通年にわたり実施できる等の効果が表れた。また、平成28年度より、施設としての長期目標を設定する取り組みを行っており、公立としての責務、施設のあり方、地域との関わり等について、全職員が関わりを持ち、ワークショップ等で意見を出し合う等、実施している。職員各自の意識改革を促す機会としても有効であった。</p>								
28年度事業内容	事業内容				名称		活動指標		
	<ul style="list-style-type: none"> 入所及び短期入所におけるベッド利用率を年間を通じて、95%を目標とする。 通所の利用者拡大により、1日あたりの利用者数を平均27人以上を目標とする。 				入所・短期入所		定員100床/95床		
				通所リハビリテーション		定員40人/27人以上			
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		658,118	695,751	663,906	0	特定財源(その他)…サービス収入、諸収入 一般財源…一般会計繰入金			
国庫支出金									
県支出金									
起債									
その他		507,827	513,310	513,270					
一般財源		150,291	182,441	150,636					
人件費計(千円)②		448,558	448,558	448,558	0				
正規職員所要時間		108,000	108,000	108,000					
臨時職員所要時間		58,000	58,000	58,000					
総事業費①+②		1,106,676	1,144,309	1,112,464	0				
事業内容・目標達成状況の振り返り		<p>入所については、特養への入所による急な退所や体調悪化による病院への入院が多く発生し、ベッド調整が難しい時期があったため、入所者数が下落した事もあったが、短期入所者の受け入れを効果的に行って、一定の入所者を確保する事が出来た。通所リハは、体調不良による利用者の減員する時期もあったが、目標の人員確保に向けて努力した。</p>							
改革改善の考え方	①問題点	入所定員100床運営における健全経営のために、通年入所ベッド利用率95%、通所1日あたりの利用者数27人以上確保の方策と、100床運営のため増大した人件費を含む歳出経費の削減。							
	②改革提案	入所者、通所者確保に向け市立病院等医療機関や他事業所との連携を強化する。人件費は、年齢構成、正規と臨職の比率等中長期的視野に立った配置計画を策定し、段階的に見直しを図る。							